

機能的磁気共鳴画像法 (fMRI) 実験室の開設にあたって

社会理工学研究科長

飯島淳一

このたび、時間をかけた入念な準備のもと、いよいよ fMRI 実験室を開設できることになりました。さまざまな関係者の皆様から、この間いただきました、ご支援、ご尽力に、深く感謝いたします。

社会理工学研究科の使命は、科学技術と人間社会のインタフェースにおける教育と研究であります。研究科の英文名称が、*Decision Science and Technology* となっておりますように、その一つの重要な対象は、「意思決定」であります。ご存知のように fMRI は、ヒトや動物の脳の活動に対する反応としての血流を視覚化することのできる装置であり、さまざまな意思決定を行うときに、脳のどの部分が活性化され、それがどのように変化するかについて分析することもできます。

本研究科は設立後 15 周年をすぎ、いわゆる元服を迎え、ようやく大人の仲間入りをしようという時期になりましたが、このような重要な時期に、「意思決定」について、従来の研究よりも深く、細かい部分について解明することのできる強力な研究設備を、また一つ新しい手に入れることができたことは、大変喜ばしいことであると考えます。

これを期に、世界有数の総合理工系大学としての立場を確固たるものとするためにも、fMRI を用いたすぐれた研究成果が得られることを期待しております。